

H29 年度医療技術等国際展開推進事業専門家派遣報告書

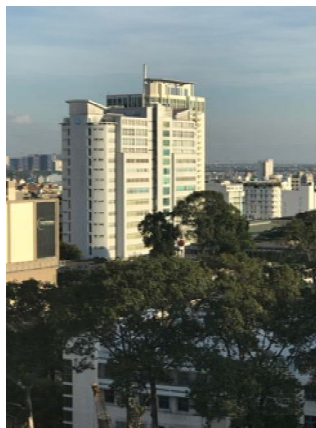
筑波大学附属病院 国際医療センター

秋山 稔

平成 29 年 11 月 8 日から 11 月 28 日までベトナム・ホーチミン市を中心に出張しました。今回の出張は、消化器疾患セミナーと新卒ローテーション研修に関する臨床指導医養成ワークショップが連続の週での実施となったため、二回の出張予定が一回の長めの出張となりました。業務としてはセミナー及びワークショップの最終計画の確認、資料の作成・確認および配布、セミナー及びワークショップの実施、ワークショップでのファシリテーター、事後の経理処理や資料整理などでした。



チョーライ病院



ホーチミン医科薬科大学

11 月 14 日（火）に実施された消化器疾患セミナーには筑波大学附属病院から 4 名の先生方にご参加いただき、消化器外科の大城幸雄先生には次世代型コンピュータ外科手術支援について、高橋一広先生には多発肝嚢胞性疾患の治療について、小川光一先生には腹腔鏡下胃粘膜化腫瘍切除術について、光学医療診療部から奈良坂俊明先生には **Cold Polypectomy** についてそれぞれ発表して頂きました。一日のセミナーで消化管外科、肝胆膵外科、肝腫瘍、消化管内視鏡、消化器内科、栄養の 6 分野の演題があり、筑波大学附属病院以外からはチョーライ病院からの 10 演題のみで、予定されていた省病院からの発表はありませんでした。筑波大学附属病院側、チョーライ病院側の発表に対しては午前・午後の最後に質疑応答セッションがあり活発な討議が行われました。消化器外科および光学医療診療部の 4 名の先生方にはその週 1 週間滞在して頂き、それぞれの専門の手術指導や内視鏡指導を積極的に行って頂きました。



消化器疾患セミナーでの参加賞授与



セミナーで開会（秋山）



セミナーでの発表（高橋一広先生）



セミナーでの発表（大城幸雄先生）



セミナーでの発表（小川光一先生）



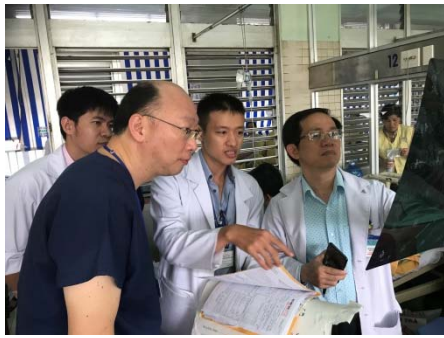
セミナーでの発表（奈良坂俊明先生）



診療相談（高橋一広先生）



手術指導（高橋一広先生）



病棟回診（大城幸雄先生）



病棟での処置（小川光一先生）



手術指導（大城幸雄先生、小川光一先生）



内視鏡指導（奈良坂俊明先生）

一方、翌週の新卒ローテーション研修の指導医養成ワークショップには筑波大学附属病院から前野哲博先生、鈴木英雄先生、さらに別予算で神栖地域医療教育センターの細井崇弘先生に参加いただき、ホーチミン市でのホーチミン医科薬科大学、チョーライ病院、ザーディン病院の医師を対象とした 2 日半のワークショップと、ドンナイ省病院での 1 日のワークショップを実施しました。日本の卒後教育の紹介、ニーズ評価、指導医の役割と教授法の改善、安全で秩序だった指導法、フィードバック法などに関して実施しました。卒後ローテーション研修の実施は 2006 年に法令で決定していたもののこれまで 1～2 名しか実施できておらず、去年のワークショップ実施とカリキュラムの完成により今年は 43 名の実施ができるようになったということで、本院による支援が実を結びました。



新卒医師研修 TOT の打ち合わせ（秋山）



ホーチミン医科薬科大学での新卒医師研修の TOT



新卒医師研修のTOTでの講義（前野哲博先生） TOTのグループワーク（前野哲弘先生、鈴木英雄先生）



TOTでのグループワーク（鈴木英雄先生、細井崇弘先生） TOT終了時の記念撮影



ドンナイ省病院



ドンナイ省病院での概要説明（秋山）



ドンナイ省病院での講義（細井崇弘先生）